

高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略

若者定住促進住宅整備事業の方針は？



吹田 薫 議員

答

住宅用地を整備し、人口の流出に歯止めをかけたい

問

高島市人口ビジョンでは、平成32年には5万人を割り込み、平成72年には3万人を割り込むという危機的な人口推計となっている。出生数が減り、高齢化が進み、若者が市外へ転出し、生産年齢人口が減少し、地域経済が縮小し、生活などが不便になり、地域コ

コミュニティや集落機能の維持が困難になると言われている。これからの高島市を考えると

本当に危惧する次第である。それに少しでも歯止めをかけるため、平成27年10月末に策定される5か年の総合戦略、特に若者定住促進住宅整備事業について問う。

答 政策部長

現段階での総合戦略案では、安曇川町の旧県農業試験場跡地を活用し、若者の定住促進を目的とした住宅を整備することで定住人口の流出に歯止めをかけたいと考えています。

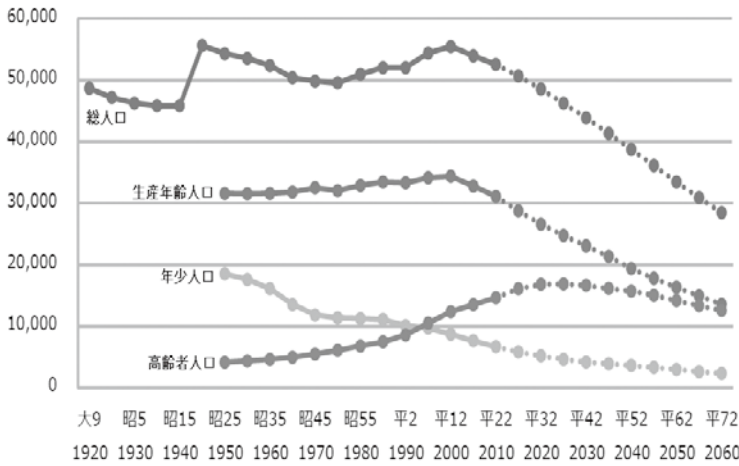
問

各駅前で市有地が遊休化していれば、そこも若者の定住住宅用地として販売してはどうか。

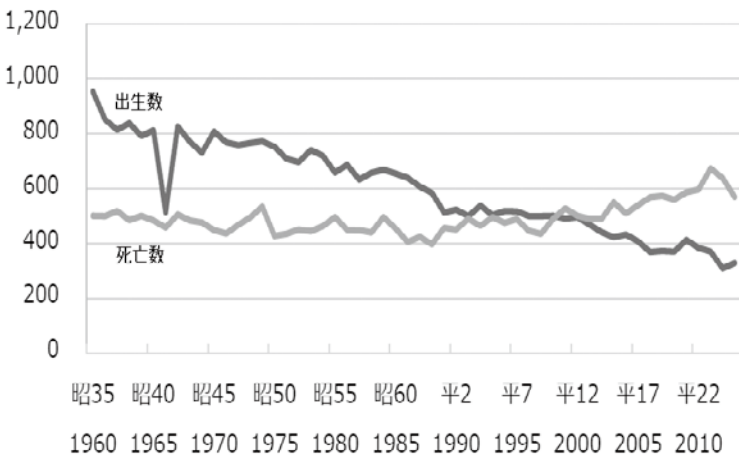
答 政策部長

市有地については、遊休財産処分推進本部で、有効活用の観点から十分検討したいと思います。

住宅施策には様々な課題が存在することから、民間の資金やノウハウも十分検討してまいります。



年齢3区分別人口の推移 (出典：国勢調査、社人研推計)



出生数と死亡数の推移 (出典：人口動態統計 - 厚生労働省)

用語解説

●まち・ひと・しごと創生総合戦略：人口の東京一極集中を是正し、就労や結婚、子育ての希望を実現するため、活力ある地域の創生を目指すもの。自治体は平成27年度中に地方人口ビジョンと地域特性に即した総合戦略を策定し、今後5か年の目標や施策を提示する。